

北東アジアのヤングリーダーがエネ研を視察



陽子線がん治療の説明を受ける視察者

10月25日、26日の両日、「北東アジア経済フォーラム」の第16回大会が、北陸経済連合会創立40周年記念として富山で開催されました(写真上)。

このフォーラムは、北東アジアの経済開発と統合に関連する研究、ネットワーキング、政策対話を支援し提供するために、1991年に設立されたものです。

この前段の事業である「ヤングリーダー研修プログラム」の一環として10月16日にはアジアなど6カ国の若手実務者、官僚、研究者がエネ研を視察に訪れました(写真左)。

ヤングリーダー達は、県のエネルギー研究開発拠点化計画や研究内容の説明を受けた後、施設内を見学し、放射線研究棟の陽子線がん治療施設について熱心に質問していました。この後、一行は高速増殖炉もんじゅを訪問しています。



第34回全国技術士大会

(技術士法制定50周年記念大会:福井)

技術士法制定50周年を記念する全国技術士大会が10月16日から18日まで福井市で開催されました。今大会のテーマは「科学技術が育む地球の未来」で、期間中、児嶋前福井大学長による「原子カルネッサンス時代を迎えて」の記念講演や、当エネ研の来馬所長による「エネルギーのこれから」などの講演が行われました。

講演する来馬所長
(写真右上)と聴講
する参加者



北海道電力・泊発電所3号機建設現場 視察研修

(原子力関連業務従事者研修)



3号機建設現場視察状況

一般研修の知識を更に深め、今後予定されている「ふげん」の廃止措置工事に関わる機器の解体撤去工事や「もんじゅ」での大型機器の取替工事の参考とするため、10月11日に泊発電所3号機建設現場の視察研修を実施したところ、22名の参加がありました。

参加者からは、「自分の目で現場を見ることができ、大変参考になった」などの声が数多く聞かれ、有意義な研修であったと評価しています。

敦賀の元気企業 異業種交流会



敦賀商工会議所エネルギー産業企業化研究会の主催で、10月14日にサンピア敦賀で開催されました。

福井県、近畿経済産業局からの基調講演、特別講演に続いて地元企業の製品開発状況の報告がなされ、懇親交流会も行われました。「嶺南モデル事業」の成果については3件の展示が行われました。



(株)ラントテクノスの油中粒子測定装置の開発中試作機



(株)ミヤケンの撥水防護服と法被の試作品
松本鉄工所の展示は下記を参照

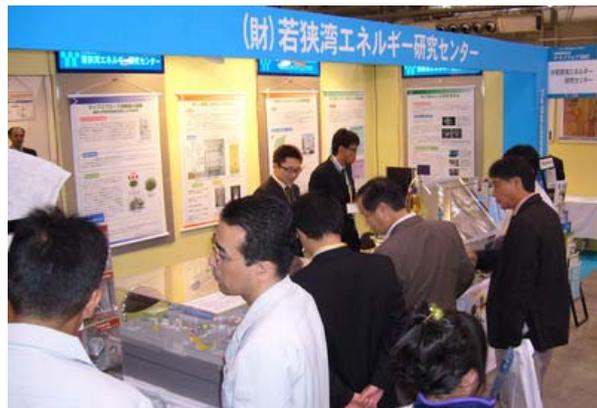


(株)共和製作所の小型太陽炉

北陸技術交流 テクノフェア2007

10月18日・19日に北陸最大規模の産学官の交流会と言われる18回目のテクノフェアが福井県産業会館で開催され、19,856人の入場者がありました。

エネ研では、これまでの研究成果だけでなく、「嶺南モデル事業」の成果についてもブースを訪れる人に紹介しました。



簡単にボルトの張力を均等に保持し、大地震後も修復可能な特殊ナット付アンカーボルトの開発

有限会社 松本鉄工所(敦賀市)

この開発は、18年度からエネ研でスタートさせた「嶺南モデル事業」の実用化枠で行われたものです。松本鉄工所では、建物の大地震時の健全性確保と、さらに特殊な材料を使わないことによる低価格での提供を目的に、特殊なナットを考案して特許を取得しており、製品化を進めるために、「嶺南モデル事業」で実寸大の試験体で地震荷重を与える「実大実験」などを行いました。

試験体および製品は左の写真のような形態のものであり、大地震時には、コンクリート中のボルトが伸びることで揺れを吸収します。また締結部のナットはスパナで締めるだけで設計トルクが得られるようになっています。

松本鉄工所では、実大実験の結果、期待するデータが得られたとして、現在、販売に向けた諸準備を行っているところです。



ビルなどの柱

基礎
(コンクリートに埋設)

説明用模型
(円内が今回の製品の部分)



「敦賀の元気企業異業種交流会」での紹介

予定

◎ 11/13(火) 三菱重工業(株) 工場見学会 (神戸・高砂)

◎ 12/1(土)-2(日) 嶺南エネルギー技術フェア

きらめきみなと館(敦賀市)

大人も子供も楽しめる未来のワクワク・アイデア技術展
詳細は敦賀商工会議所のホームページへ